

令和4年度第4回理事会議事録

1. 日 時：令和4年9月1日（木）18：00-19：00
2. 出席者：奥沢悦子、吉田泰憲、木村正彦、須藤安史、逆井久美子、川口裕美、佐藤舞、高松みどり、小山内誠、津嶋里奈、中村安孝、河村義雄、國分慎、四釜育与、田村栄子、吉岡治彦、齋藤浩治、石山雅大
3. 欠席者：齋藤賢、鹿摩悟

定款第5章第32条及び諸規定により、議長に奥沢会長があたり、書記に高松理事が指名され、審議が行われた。審議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点により、オンラインで行われた。

【報告事項】

1. 学術部経過報告

吉田学術部長より青臨技精度管理調査と事後の研修会登録について以下の報告があった。

今年度の青臨技精度管理調査の日程は、準備から報告会の開催まで9月～2月の間で実施予定。試薬の発送について現在は、青森市民病院で対応していたが、今後どのようにしていくのかとの提案があった。齋藤（浩）監事より、ある程度の作業スペースと大きめの冷蔵庫が必要となる。今後は事務局がある支部の施設で発送していくということかどうかの回答があった。8月27日（月）に第1回の臨床生理部門の研修会が実施されたが、参加者60人程度に対し、研修会の自己登録が現時点で16名と少ない。今年度より開始したことなのでまだ浸透していないということも原因と考えられるが、啓発していくにはどうしたらいいかとの提案があった。何か案がある場合はサイボウズに書き込んでもらうこととなった。

2. 公益部経過報告

木村公益部長より高校生心電図検診に関して以下の報告があった。

現状高校生心電図に関してマニュアルが存在していない。全支部共通のものを準備するのかなど各支部と相談しながら作成していきたい。

3. 渉外部経過報告

須藤渉外部長より特になしと報告があった。

4. 事務局経過報告

逆井事務局長より特になしと報告があった。

5. 奥沢会長より報告

①北日本支部学会

一般演題は126題。8月31日に青森県から選出していただいた座長が最終決定した。学会で座長等の派遣において施設から費用を捻出できない場合、参加費は自己負担だが、交通費等は青臨技にて補助することとした。今後もこのような補助は日臨技の事業に限り補助を行うこととなった。

②災害に関して

昨日の豪雨災害等、日臨技からも災害による被災確認が来ている。災害にあわれた会員に対しては1年間の会費免除の制度がある。現在は全員へのメール配信とサイボウズでの配信で確認を行っている。今後も同様にしていくが、各支部長は支部内の状況を確認し、報告してほしい。

③宮島会長の報道に関して

昨日説明会が開催される予定だったが、延期となった。その後の日程は未定のため、今後詳細が分かり次第報告する。石山監事より、この件に関し技師連盟にも問い合わせているが返答はないとの報告があった。

【議題】

1. ピンクリボンキャンペーン2022への協賛

奥沢会長より今年度も昨年度と同様に協賛金について提案があった。理事に意見を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

2. 9月11日のタスク・シフト/シェアの開催

齋藤（浩）監事より本日10名のキャンセルがあり、現在46名の参加登録となっている。日臨技から提示されている開催条件では50名以上の参加者が確保できない場合、開催を見送ることとなっている。開催か延期かを決定したいとの提案があった。開催までの期間で人数の確保が難しいこと、新型コロナウイルス感染拡大の影響を考え今回は延期とすることとなった。石山監事より開催人数の50人以下で開催中止というのは地方の技師会にとっては厳しいのではないかとの意見があった。今後日臨技に要望を上げることとなった。

3. 臨地実習指導者講習会について

奥沢会長より来年度から講習会に1施設から複数人参加できるようになる。臨地実習の新カリキュラムは2024年度からスタート。現在県内ではファシリテーターとして弘

前大学の櫛引さんが講習を修了している。今後新型コロナウイルスの感染状況を見ながら県内で研修会を開催したいと考えているとの報告があった。石山監事より北海道や新潟の学校からも実習について問い合わせが来ている。県内で幅広く受け入れることで、今後の就職にも繋げることができるのではないかと考える。例えば基本の研修は大学病院などの大きい病院で、1-2週間他施設で実習するなど県内の施設で協力してやっていきたいと思っている。奥沢会長より臨地実習指導者の配置が必須となるため青臨技としても支援できる形を考えたいと発言があった。

上記の事項について理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

【その他】

1. 施設管理者会議

新型コロナウイルス感染拡大の影響で数年開催できていなかったが、ZOOM を使用し開催したらどうかとの提案があった。

2. 野球肘検診

齋藤監事より今年度実施予定について説明があった。

10月30日 むつ市

11月26、27日 青森市

12月3、4日 弘前市

12月10日 十和田市

検診に参加している技師がほぼ固定のメンバーとなっている。通常エコーを実施していない技師でも十分に対応可能なので、今後は参加技師を増やしていきたい。

上記の事項について理事に了承を求めたところ、出席者全員が異議なく了承された。

議長は以上をもって審議を終了したことを告げた。

会長

印

監事

印

印